

地元IT企業による

IoT導入支援事例③

IoT IMPLEMENTATION SUPPORT CASES 3



"IT" CHANGES IT 私たちは"IT技術"により
医療を、社会を、変えていきます
株式会社ワイズ・リーディング
Y'S READING INC.
〒896-342-7878
●熊本市北区高平3-43-11
<https://www.ysreading.co.jp/>
主要事業 遠隔画像診断事業、IoMT/AIシステム開発事業
一言PR 医療施設のCT、MRIで撮影された画像の診断支援サービス及び、AIやIoMTの技術を用いたシステム開発をおこない、医療をはじめ様々な業種、業界の課題解決のお手伝いをしています。

E

事例1

在庫管理から新たなビジネスへ

株式会社倉岡紙工

●熊本市南区南高江6-4-22

●資本金:1,000万円 ●従業員数:20名程度 <https://kuraokashiko.co.jp/>

事業内容 印刷紙器、美粧ケース、その他紙工品製造

課題

- ①紙器製造に欠かせない「木型」の管理について、長年その保管・運用方法に苦慮。
- ②現状ではエクセルによる管理で、現物との紐付けが出来ず、担当者のみが所在地を把握。



本事例のポイント

- 作業の効率化・省力化
- 生産・在庫管理の改善
- 付加価値の創出

導入コスト 約200万円程度～

F

事例2

機械が最終検査を肩代わり

九州オルガン針株式会社

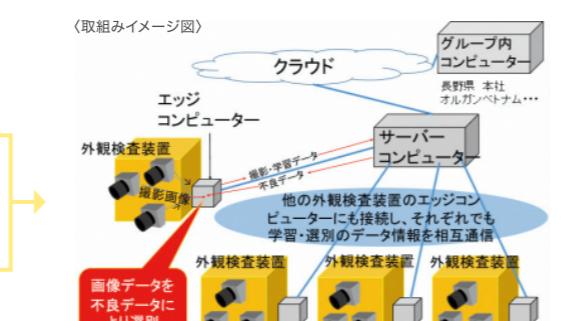
●玉名郡玉東町稻佐288

●資本金:13,500万円 ●従業員数:132名程度 <https://www.kyushu-organ.co.jp/>

業務内容 ミシン針製造・精密部品製造販売

課題

- ①主製品「ミシン針」の最終外観検査は、大変細かい作業であり、経験とノウハウが必要となるが、近年の人手不足により、熟練技術の継承が課題。
- ②他工場との判別基準の統一化。



本事例のポイント

- 作業の効率化・省力化
- 製品等の品質安定・向上
- 技能承継
- 工数の低減

導入コスト 約800万円程度～

IoT・AIによる
課題解決と
その効果

熊本県産業支援課における 補助制度と活用事例

SUBSIDY SYSTEM OF KUMAMOTO PREFECTURE AND EXAMPLES OF USE



補助制度と活用事例 菊池郡

01 「熊本県IoT推進ラボ」 事業化補助金

概要 熊本県IoT推進ラボにおいて提案されたアイデア等、IoTを活用した商品・サービスの開発又は生産性向上を図る取組みに対する補助。

補助率 1/2 补助上限額 100万円

G
事例1

製造工程のIoT化による生産性向上
株式会社上村エンタープライズ

●菊池郡大津町大林1017-1

●資本金:3,000万円 ●従業員数:30名程度

<https://www.uemura-e.co.jp/>

事業内容 樹脂精密切削加工 等

課題

- ①工程管理を管理用紙を用いた手書きで実施しており、誰がどこまで加工しているかなどの、現在の工程状況が逐一把握出来ていない。
- ②製造各工程の加工時間の標準化。

IoTによる課題解決とその効果

①ICタグを用いて製造工程を見える化

それぞれの画面をICタグと同時に管理。各工程毎にICタグリーダーで読み取りを行い、加工装置や作業者と紐づけて工程管理。

②人と機械装置の見える化

製品の各工程における加工時間が見える化され、作業量と機械稼働率が把握可能に。そこから社員の作業時間の分散化や機械稼働率の向上につなげる。



本事例のポイント

- 作業の効率化・省力化
- 生産・在庫管理の改善

導入コスト 約200万円程度

補助制度と活用事例 熊本市

02 地域未来投資促進補助金

概要 地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画の承認を受けた事業者が行う、IoT、AI関連産業分野に係る設備投資への補助。

補助率 1/2 补助上限額 5,000万円

H
事例2

高付加価値製品生産プロジェクト
株式会社熊防メタル

●熊本市長嶺西1-4-15

●資本金:2,000千円 ●従業員数:150名程度

<https://www.kb-m.co.jp/>

事業内容 表面処理全般(アルマイト・無電解ニッケル・亜鉛など)

課題

- ①表面処理製品は多品種で処理数が膨大。また半導体業界の好調も背景にさらなる生産力向上が急務。
- ②他分野参入も見据えたさらなる高付加価値製品の製造体制構築。

IoTによる課題解決とその効果

①受注から出荷までを一元管理し効率化

受注、表面処理、検査、出荷までの各工程における製品の流れを見える化するシステムを開発。各生産管理状況をだれでもが把握可能になった。

②高付加価値製品の製造

各処理工程の温度や処理時間をセンシングによって見える化することで、耐熱性、耐電熱圧性、耐食性など高付加価値なアルマイト処理が新たに可能となった。



本事例のポイント

- 作業の効率化・省力化
- 生産・在庫管理の改善
- 付加価値の創出

導入コスト 約6500万円程度